



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年11月8日

上場会社名 株式会社N・フィールド 上場取引所 東  
 コード番号 6077 URL http://www.nfield.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)又吉 弘章  
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役専務管理本部長 (氏名)久保 明 (TEL) 06(6343)0600  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	6,903	18.4	315	△2.0	303	△5.4	93	△38.8
29年12月期第3四半期	5,829	33.2	321	△1.6	320	△2.5	152	△2.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	7.16	7.16
29年12月期第3四半期	11.70	11.70

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	3,196	1,991	62.3
29年12月期	2,976	1,954	65.6

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 1,991百万円 29年12月期 1,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 30年12月期の業績予想(30年1月1日～30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,842	22.6	700	24.2	686	22.3	355	12.7	27.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期3Q	13,210,000株	29年12月期	13,210,000株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	217,928株	29年12月期	212,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期3Q	12,990,436株	29年12月期3Q	12,994,334株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が継続しております。一方、米国を中心とした貿易摩擦が強まり、また、国内においては平成30年北海道胆振東部地震や台風などの大規模な自然災害が多発し、景気の先行きについては不透明な状況が継続しております。

我が国の医療環境については、6年に1度の診療報酬と介護報酬の同時改定が実施されました。団塊の世代が全て75歳以上の高齢者となる2025年に向け、どこに住んでいても適切な医療・介護を安心して受けられる社会の実現（地域包括ケアシステムの構築）が改定に際しての基本認識の一つとされ、今後も質の高い在宅医療・訪問看護の確保の重要性が高まっていくものと考えております。同時に他の業界と同じく医療業界においても人手不足が顕著になっており、人員の確保が重要な課題となっております。

このような状況のもと、当社は新たに事業所を16ヶ所、営業所を3ヶ所開設するなど、引き続き訪問看護事業の拠点開設を進めるとともに、人員の確保及び人材育成に注力してまいりました。

以上により、当第3四半期累計期間における売上高は6,903,812千円となり、前年同四半期に比べて1,074,547千円、18.4%の増収となりました。利益面では、拠点数の増加に伴う家賃負担や人件費負担が増加したほか、当第3四半期累計期間においては、看護の質の向上を目的とした研修の充実に注力しており、関連する費用が増加するなどしました。また人員の確保に努めたことから、採用時の紹介手数料が増加するなど、販売費及び一般管理費も増加したことなどから営業利益は315,215千円となり、前年同四半期に比べて6,340千円、2.0%の減益となりました。経常利益については303,027千円となり、前年同四半期に比べて17,188千円、5.4%の減益となりました。四半期純利益は退職役員に対する慰労金49,600千円を支払ったことなどから、93,042千円となり、前年同四半期に比べ58,968千円、38.8%の減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期会計期間末の資産合計は3,196,075千円となり、前事業年度末から219,321千円増加しました。増収に伴い売掛金が増加したほか、繰延税金資産等のその他の流動資産が増加するなどしました。

#### (負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債合計は1,204,365千円となり、前事業年度末から181,772千円増加しました。法人税等の確定納付により未払法人税等が減少するなどしましたが、人員数の増加などにより給料等に係る未払金、賞与引当金や退職給付引当金が増加するなどしました。

#### (純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,991,710千円となり、前事業年度末から37,549千円増加しました。四半期純利益の計上などにより、利益剰余金が増加するなどしました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月7日の「平成29年12月期決算短信[日本基準](非連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	766,577	811,354
売掛金	1,530,851	1,626,961
貯蔵品	1,706	3,763
その他	152,675	213,291
貸倒引当金	△1,411	△848
流動資産合計	2,450,400	2,654,521
固定資産		
有形固定資産	108,017	111,504
無形固定資産	162,448	160,660
投資その他の資産	255,888	269,390
固定資産合計	526,353	541,554
資産合計	2,976,754	3,196,075
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	521,266	645,069
未払法人税等	173,398	108,557
賞与引当金	22,879	105,459
その他	242,526	245,148
流動負債合計	960,070	1,104,234
固定負債		
退職給付引当金	61,582	94,577
その他	939	5,552
固定負債合計	62,521	100,130
負債合計	1,022,592	1,204,365
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	731,950	731,950
資本剰余金	722,796	725,699
利益剰余金	714,296	742,350
自己株式	△215,198	△208,553
株主資本合計	1,953,844	1,991,446
新株予約権	316	264
純資産合計	1,954,161	1,991,710
負債純資産合計	2,976,754	3,196,075

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	5,829,265	6,903,812
売上原価	4,507,887	5,509,006
売上総利益	1,321,378	1,394,806
販売費及び一般管理費	999,822	1,079,590
営業利益	321,555	315,215
営業外収益		
受取利息	331	311
助成金収入	250	3,770
その他	2,289	1,720
営業外収益合計	2,870	5,802
営業外費用		
支払利息	880	93
雑損失	—	16,115
自己株式取得費用	899	—
その他	2,430	1,780
営業外費用合計	4,210	17,989
経常利益	320,216	303,027
特別利益		
保険解約返戻金	—	1,912
新株予約権戻入益	—	6
固定資産売却益	19,174	—
特別利益合計	19,174	1,919
特別損失		
役員退職慰労金	—	49,600
固定資産除却損	2,542	—
特別損失合計	2,542	49,600
税引前四半期純利益	336,847	255,347
法人税、住民税及び事業税	223,112	206,281
法人税等調整額	△38,276	△43,976
法人税等合計	184,836	162,304
四半期純利益	152,011	93,042

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。